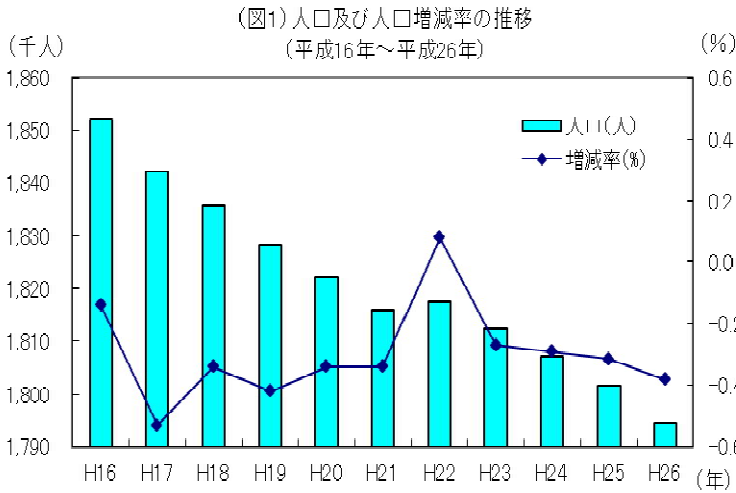


# 平成26年熊本県推計人口調査結果の要約

総人口	1,794,623	人	前年比	6,872	人 減少
男	843,892	人	前年比	2,894	人 減少
女	950,731	人	前年比	3,978	人 減少
世帯数	710,300	世帯	前年比	5,102	世帯増加

## 1 熊本県の人口 - 6,872人の減少

平成26年10月1日現在の人口は、1,794,623人で、死亡者が出生者を上回る自然減及び県外への転出者が転入者を上回る転出超過により、前年に比べて6,872人（0.38%）減少した。



(表1)人口及び人口増減率の推移  
(平成16年～平成26年)

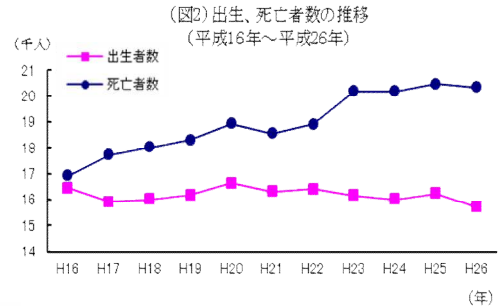
年次	人口(人)	増減率(%)
H16	1,852,135	0.14
H17	1,842,233	0.53
H18	1,835,909	0.34
H19	1,828,288	0.42
H20	1,822,155	0.34
H21	1,815,985	0.34
H22	1,817,426	0.08
H23	1,812,502	0.27
H24	1,807,201	0.29
H25	1,801,495	0.32
H26	1,794,623	0.38

H17、H22は、国勢調査の数値。  
H15、H16、H18～H21、H23～H26は、  
国勢調査をもとに推計。

## 2 人口動態 - 死亡者が4年連続で2万人を超過

自然動態は、出生者15,695人、死亡者20,334人と4,639人減で、県内の死亡者が4年連続で2万人を超過した。

社会動態は、転入者79,859人、転出者82,092人（熊本市の区間移動者を含む）と2,233人の転出超過で、平成9年から18年連続となっている。



## 3 市町村別人口 - 熊本市及び近郊市町村で増加

最も人口が多い市町村は、熊本市の740,204人（県全体に占める割合41.2%）で、次いで八代市128,674人（同7.2%）、天草市83,521人（同4.7%）である。

人口増減数では、前年に比べ増加したのは合志市（907人増）、熊本市（663人増）、菊陽町（651人増）など8市町村で、減少したのは天草市（1,379人減）、八代市（920人減）、玉名市（615人減）など37市町村である。

人口増減率では、前年比で増加率が高いのは菊陽町（1.64%）で、次いで合志市（1.58%）、大津町（0.92%）となっており、熊本市及び近郊市町村での増加が目立っている。一方、最も減少率が高いのは球磨村（2.86%）で、次いで山都町（2.70%）、湯前町（2.33%）となっている。

(表2)人口、人口増減数及び増減率の上位5市町村(平成25年10月～平成26年9月)

順位	人口(人) H26.10.1現在		人口増減数(人)				人口増減率(%)			
			増加		減少		増加	減少		
1	熊本市	740,204	合志市	907	天草市	1,379	菊陽町	1.64	球磨村	2.86
2	八代市	128,674	熊本市	663	八代市	920	合志市	1.58	山都町	2.70
3	天草市	83,521	菊陽町	651	玉名市	615	大津町	0.92	湯前町	2.33
4	玉名市	67,614	大津町	303	山鹿市	604	益城町	0.87	小国町	2.29
5	宇城市	60,145	益城町	287	上天草市	577	西原村	0.51	あさぎり町	2.11

#### 4 年齢別人口 - 県民の4人に1人以上が65歳以上

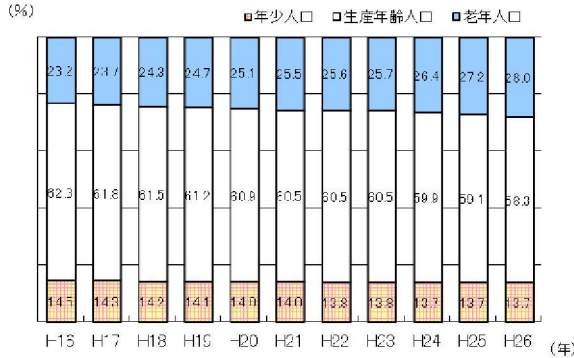
年少人口(0～14歳)	245,536人	(県の総人口に対する割合	13.7%)
生産年齢人口(15～64歳)	1,046,000人	(県の総人口に対する割合	58.3%)
老年人口(65歳以上)	503,087人	(県の総人口に対する割合	28.0%)

年少人口は、245,536人、生産年齢人口は、1,046,000人、老年人口は、503,087人で、県の総人口に対する割合は、前年に比べ、年少人口は同水準、生産年齢人口は0.8ポイント低下、老年人口は、0.8ポイントの上昇となった。

老年人口の県の総人口に対する割合は、過去最高の28.0%となった。

(表3)年齢3区分別人口の推移(平成16年～平成26年)

(図3)年齢3区分別人口割合の推移(平成16年～平成26年)



年次	年齢3区分別人口(人)			年齢構造係数(%)		
	年少人口(0～14歳)	生産年齢人口(15～64歳)	老年人口(65歳以上)	年少人口	生産年齢人口	老年人口
H16	269,184	1,153,648	429,303	14.5	62.3	23.2
H17	264,013	1,139,125	437,244	14.3	61.8	23.7
H18	260,947	1,129,635	445,327	14.2	61.5	24.3
H19	257,789	1,118,788	451,711	14.1	61.2	24.7
H20	255,731	1,109,527	456,897	14.0	60.9	25.1
H21	253,546	1,099,148	463,291	14.0	60.5	25.5
H22	249,606	1,093,440	463,266	13.8	60.5	25.6
H23	249,787	1,096,811	465,904	13.8	60.5	25.7
H24	248,482	1,081,681	477,038	13.7	59.9	26.4
H25	247,205	1,064,935	489,355	13.7	59.1	27.2
H26	245,536	1,046,000	503,087	13.7	58.3	28.0

H17、H22(国勢調査)は年齢不詳人口を除く。

#### 5 世帯 - 1世帯当たり人員は過去最少

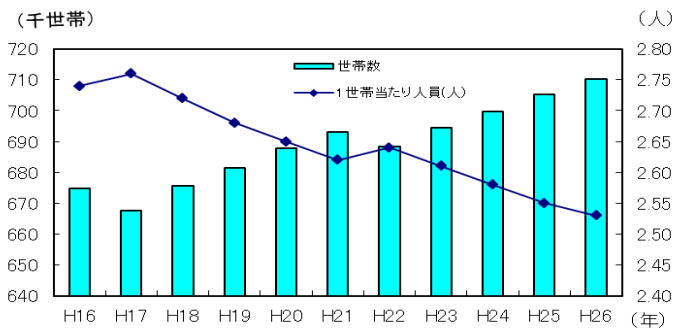
平成26年10月1日現在の世帯数は、710,300世帯で、前年に比べて、5,102世帯(0.72%)増加した。

1世帯当たりの人員は2.53人で、前年に比べて、0.02人減少した。1世帯当たりの人員は、単身世帯の増加、核家族化等により過去最少となっている。

市町村別に1世帯当たりの人員をみると、最も多いのは氷川町 3.05人で、最も少ないのは五木村 2.27人で、その差は0.78人である。

(表4)世帯数及び1世帯当たり人員の推移

(図4)世帯数及び1世帯当たり人員の推移(平成16年～平成26年)



(平成16年～平成26年)

年次	世帯数	1世帯当たり人員(人)
H16	674,815	2.74
H17	667,533	2.76
H18	675,555	2.72
H19	681,377	2.68
H20	687,852	2.65
H21	693,039	2.62
H22	688,234	2.64
H23	694,374	2.61
H24	699,666	2.58
H25	705,198	2.55
H26	710,300	2.53

H17、H22は、国勢調査の数値。  
H15、H16、H18～21、H23～H26は、  
国勢調査をもとに推計。

(表5)1世帯当たり人員の上位5市町村

順位	1世帯当たり人員(人)			
	多い		少ない	
1	氷川町	3.05	五木村	2.27
2	相良村	3.04	熊本市	2.35
3	山江村	3.02	水俣市	2.42
4	和水町	2.94	南阿蘇村	2.43
5	錦町	2.92	人吉市	2.45